

BUNBUN Funabashi.

ぶ ん ぶ ん

ふ な ば し

第 18 号

年 6 回発行

無料

2022 年 1 月 31 日発行
発行 船橋市文化振興推進協議会
TEL 047-436-2894

2022
2月~
3月

音楽で
まちを元気に！



市教育委員会と文化施設のイベント情報を
ひとつにまとめた WEB 版フリーペーパー！

市民文化ホール/きららホール/郷土資料館/飛ノ台史跡公園博物館
市民ギャラリー・茶華道センター/アンデルセン公園子ども美術館 ほか

WEB 版



R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

6つの施設が毎号交替でイチオシ情報をお届けします。第18号（2,3月号）の担当は文化課です。詳しくは4ページへ！GO！

各施設からのお知らせ

「手洗い・手指消毒」「マスクの着用」「3つの密の回避」等、感染予防にご協力をお願いします。
* イベント情報は令和4年1月末時点です。新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、内容が変更となる場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。



市民文化ホール

TEL 047-434-5555

【休館日】
月曜日(3/21を除く)

第40回ふなばし市民寄席

柳亭市馬・春風亭一之輔・桂宮治 三人会 **完売しました**

【日時】2月12日(土)13:00開演(12:15開場)

【出演】柳亭市馬、春風亭一之輔、桂宮治

【料金】一般3,700円、友の会3,500円 ※未就学児入場不可



市民ギャラリー

TEL 047-420-2111

イベント詳細については
お問合せください

2月の予定

日程	内容
2/1(火)~2/7(月)	船橋市小・中・特別支援学校造形作品展【中止】
2/9(水)~2/10(木)	「Think Bee! スペシャルショップ in 船橋」
2/14(月)~2/20(日)	船橋市写真展入賞作品展
2/22(火)~2/27(日)	東京学館船橋高等学校美術工芸科卒業制作展 船橋市西図書館所蔵資料展
2/28(月)~3/6(日)	ペンタックスリコーファミリークラブ千葉支部写真展

3月の予定

日程	内容
3/3(木)~3/5(土)	雁鴻会書展
3/5(土)~3/6(日)	プティ作品展 15~小さな花の大きな世界~with私の好きなフラワーワールド
3/8(火)~3/13(日)	船橋市いきいき同窓会作品展
3/15(火)~3/20(日)	美術集団スクエア NEW 展(絵画・写真・書・工芸・彫刻) フォトサークル遊覧展
3/21(月・祝)~3/27(日)	DAC 展(絵画) クラブ写朗写真展 日本風景写真協会千葉支部写真展
3/22(火)~3/27(日)	千葉工業大学文化会写真部 はるてん
3/23(水)~3/27(日)	船陶会作陶展
3/29(火)~4/3(日)	菱沼勉展-呼吸-

第43回船橋市写真展

WEB公開

船橋市写真展HPにて応募作品をスライドショー公開
2月14日(月)~3月25日(金)

入賞作品展

入賞作品を市民ギャラリーにて展示
2月14日(月)~20日(日)

令和3年度船橋市西図書館所蔵資料展「房総の風景画 ~浮世絵に描かれた名勝~」

【日時】2月22日(火)~27日(日)10:00~17:00 ※25日(金)は19:00まで

【会場】船橋市民ギャラリー

西図書館の豊富なコレクションから、房総の風景を描いた浮世絵を展示します。



きららホール

TEL 047-423-7261

【休館日】
2/28-3/28

ちょっとよりみちライブ vol.204

6th FMS弾き語りコンテスト優勝者 トモクロウLIVE
~冬の空を見上げながら~



【日時】2月17日(木)18:30開演(17:45開場) 【出演】トモクロウ(歌/ギター)

【料金】無料(事前申込制) ※1月21日(金)午前10時より申込開始 【定員】132名

令和3年度県民芸術劇場公演

弦楽四重奏とマリンバで巡る世界の名曲 **完売しました**



【日時】2月19日(土)14:00開演(13:15開場)

【出演】千葉交響楽団メンバー 長尾裕子(第1ヴァイオリン)
下城瑠五子(第2ヴァイオリン)、高田美樹子(ヴィオラ)、
海老澤洋三(チェロ)、齋藤綾乃(マリンバ)

【料金】一般2,000円、友の会会員1,800円、高校生以下1,000円 ※未就学児入場不可

ちょっとよりみちライブ vol.205

ヒーリング・DUO “ロマンス・ノート” ルーム
~サクセス&ギターが奏でる癒しの音空間~



【日時】3月17日(木)18:30開演(17:45開場)

【出演】本間邦子(ソプラノ・サクセス/アルト・サクセス)、柳町正隆(ギター/歌)

【料金】無料(事前申込制) ※2月18日(金)午前10時より申込開始【定員】132名



西図書館

TEL 047-431-4385

【休館日】
2/1~4、2/28
3/10、3/28

西図書館ギャラリー展示

「三番瀬のつながり展 ~アサリを学ぶ、アサリを食べる~」

【会期】開催中~3月6日(日)【会場】西図書館 2階ギャラリー
ふなばし三番瀬環境学習館協力のもと、生き物の標本などを展示します。





郷土資料館

TEL 047-465-9680

【休館日】
月曜日(3/21を除く)
2/24(木)・3/22(火)

企画展「海辺のようすの移り変わり」

【会期】開催中～5月8日(日) 9:00～17:00(入館は16:30まで)

【会場】3階 第2展示室

船橋市沿岸部の風景・産業・くらしなどの変化に関する資料を展示しています。

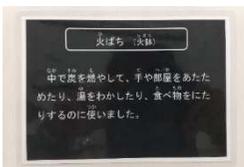


郷土資料館からのお知らせ

郷土資料館では、障害をお持ちの方もそうでない方も、同じように船橋の歴史や文化に親しみを持ってもらえるよう、市の身体障害者福祉センターと協力し、館内の点検を行い、更なるバリアフリー化を進めています。

そのひとつとして、一部の展示物のキャプション(説明)や、1階ロビーのデジタルサイネージで表示している「二十四節気」などの紹介画面を「黒地に白文字」に変更しました。これは、「黒い背景に白文字のほうが見やすい」という身体障害者福祉センター職員からのアドバイスを受けて導入したものです。

今後も、誰もが使いやすい資料館となるよう、館内の点検と改善を行ってまいります。



「黒地に白文字」キャプション



二十四節季「大寒」画面表示

文化課

TEL 047-436-2894

地域ふれあいコンサート

【会場】市内各公民館 16か所 ※要事前申込

2月5日(土)～3月6日(日)の1か月にわたり、クラシック・オペラ・タンゴから民族音楽まで様々なジャンルの演奏会を開催します。身近な会場で上質な音楽をお楽しみください。



ホームページはこちら！



【休館日】
月曜日(3/21を除く)
2/24(木)・3/22(火)



飛ノ台史跡公園博物館

TEL 047-495-1325

第10回 海神中学校・高根台中学校・飛ノ台史跡公園博物館合同展～日本の美を今に活かした作品展～

【会期】2月15日(火)～3月5日(土) 9:00～17:00(入館は16:30まで)

※最終日(3月5日)は正午まで

【会場】1階ギャラリー

【料金】要入館料(一般110円、小～高校生50円 ※市内在住の小・中学生は無料)

とびはくでは両中学校の美術科と連携し、縄文土器や土器片などをスケッチ・拓本をとり、陶芸や型染めのデザインを考えるという授業に協力してきました。第10回を迎える今年度も、両校の生徒がステキな作品を作成しました。瑞々しい感性あふれる作品たちを、ぜひご覧ください。



高根台中美術部制作の槽絵(白虎)



ふなばしアンデルセン公園 子ども美術館

TEL 047-457-6661

【休館日】 月曜日(3/21・3/28を除く)
2/14～2/18(園内整備期間)

企画展「アンデルセンと子ども美術館展」

【会期】開催中～3月13日(日)

【会場】展示室1・2

イブ・スパンク・オルセンの水彩原画53点、ラース・ボーの版画(リトグラフ)10点、早野コレクション資料多数、アンデルセンの屏風(複製)など、アンデルセンやアンデルセン童話に関する子ども美術館の所蔵品を展示。この機会にH.C.アンデルセンの魅力をたっぷりと紹介します。

とくべつおはなし会

【日時】2月27日(日)①12:00 ②13:00 ③14:00

【定員】各先着2組

【会場】童話館 お話しコーナー
二十三夜の会によるおはなしです。



Information

船橋市バーチャル美術館 開設！

船橋市所蔵作品や美術活動を紹介する専用ホームページ「バーチャル美術館」を令和4年1月31日に開設しました。

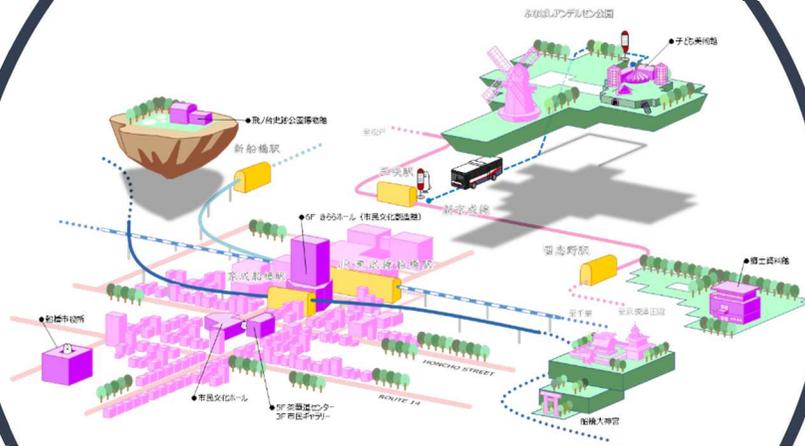
「バーチャル美術館」では、令和2年12月に開催した市所蔵作品展「椿貞雄と清川コレクション」の会場をVRパノラマで撮影した「バーチャル展覧会」のほか、収蔵作家のインタビュー動画などを公開。いつでもどこでもアートを楽しめるようなコンテンツ、情報を発信していきます。ぜひご覧ください。



バーチャル美術館は
こちらから



BUNBUN Map



「BUNBUN」ってどんな意味？」

ブンブンと飛び回って蜜を集めるミツバチの様に、船橋の文化施設を巡り“楽しい”を身近に感じてもらおうという思いを込めて名付けました。

Pick up!!

第29回 音楽のまち・ふなばし千人の音楽祭

Interview

「千人の音楽祭」は、平成6年に船橋アリーナの落成を記念して始まり、市内音楽団体、学校関係者、行政の3者が一体となって運営しているイベントです。例年は船橋アリーナで開催され、出演者・観客合わせて約4,000人が参加します。第21回からは「音楽のまち・ふなばし」という冠を掲げ、現在は「子供たちの未来につながる音楽祭」を最大のテーマに掲げ、船橋の音楽環境整備も考えながらイベントに取り組んでいます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、無観客で収録を行い、番組放映という形で開催します。

千人の音楽祭実行委員長の高橋健一さんにお話を伺いました

— 「千人の音楽祭」とはどんなイベントですか？千人で何か行うのですか？

世代を越えた、音楽のジャンルを越えた、国境を越えた、形もとられるものもない多様性溢れる音楽祭です。日本に唯一無二、船橋市にしか存在しない世界でも珍しい音楽祭です。

— 今年で29回目とのことですが、今回はどのようなコンセプトですか？ また、見どころをお聞かせください。

見どころ、聴きどころは、やはり新垣隆氏という日本が生んだ天才作曲家の合唱とオーケストラのための曲「わたぼうし」です。新垣隆さんと、たまたま別の仕事で一緒させて頂いた時に、コロナ禍の中で奪われていった子ども達の時間についてお話をさせていただいたところ、実現したものです。千人の音楽祭実行委員会が委嘱した作品になります。本番ではプロオーケストラ千葉交響楽団の演奏も必聴です。

— 最後に、今後に向けた展開をお願いします。

唯一無二であるこの音楽祭の本来の姿を2023年2月に取り戻すことを目標にしています。その時が、なんと30回の記念すべき年となります。千人の音楽祭が始まった時、私は31歳でした。それから一度も休むことなく約30年間関わらせて頂いたことに、時の流れの早さと多くの方々への感謝の気持ちでいっぱいです。出会いの重さと深さを感じた年月でした。



■ J:COM チャンネル(地デジ11ch) 放映
令和4年3月13日(日) 15:00~

■ YouTube 配信
令和4年3月14日(月)
~令和4年3月30日(水)